

〈2019年度〉

# 南山大学・豊田工業大学 連携講演会

## テーマ 「ヒトの動き」における工学とスポーツ科学の接点について

日時・会場

**12月8日** 日 10:00~12:30  
(9:30開場)

**南山大学 G棟 G27教室**  
名古屋市昭和区山里町18

スケジュール

1. 開催挨拶
2. 連携趣旨と概要・実績等の紹介
3. 講演01
4. 講演02
5. 質疑応答

### 講演01

豊田工業大学 工学部知能情報メディア研究室

**浮田 宗伯 教授**

専門：コンピュータビジョン、機械学習、ヒューマンセンシング、ヒューマンモデリング



#### カメラによる人の動きの解析とその応用 ～生活の質向上に向けた応用例～

今ではひとくりに「人工知能」と呼ばれている技術の中には、さまざまな個別の技術が含まれています。こうした技術の中でも中核技術である「画像認識」や「機械学習」の発展によって、一般家庭でもありふれているデジタルカメラによってヒトの動きを撮影するだけで、そのヒトの動きを解析することが可能になってきました。本講演では、ヒトの動きを撮影した画像から、基礎的な動きの情報を計算する技術の初歩を、まず解説します。その後、基礎的な動き情報からどのような応用が実現可能であるかについて、予防医療やリハビリのための歩行パターン解析、初級者へのスポーツ指導など、いくつかの応用について実例を交えながら紹介していきます。

### 講演02

南山大学 体育教育センター・理工学部機械電子制御工学科  
(日本バスケットボール学会 理事)

**飯田 祥明 講師**

専門：スポーツバイオメカニクス・トレーニング科学



#### 「現場と研究との橋渡し」としての スポーツ動作分析

科学の進歩にともなってスポーツ中の人間の動きのデータの化は比較的容易になり、動作分析研究も発展を遂げてきました。ただし、得られたデータをどう処理し、どのように実際の身体運動の効率化に繋げるのかについてはまだまだ研究の余地が多いのが現状です。また、時間的、金銭的、人的コストの高さも動作分析の課題一つといえます。そのため、強化資金が投入されている日本代表チームなどには動作分析によるフィードバック指導が行われていますが、一般的なチームまで普及しているとは言い難い状況です。本講演では、現在改良を進めている簡易式動作フィードバックシステムを紹介しながら、「現場と研究をどう繋げるか」について展覧します。

### 申込方法

南山大学ホームページの所定フォームからご応募ください。ハガキでも受け付けます(電話・FAXでは受け付けておりません)。ハガキで応募される場合は、参加希望者および同伴者(1名まで)の郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・連絡先電話番号をご記入ください。

### 申込期限

11月24日(日) 必着

### 定員

250名(参加費無料)、事前申込制。応募者多数の場合は抽選を実施します。当選者には開催1週間前を目途に参加証を郵送にて送付します。

### 申込先

WEBページ <https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/koho/toyoko/2019/>  
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 南山大学学長室「連携講演会」係



### 会場へのアクセス



地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分  
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

**お問い合わせ先** 南山大学学長室 TEL 052-832-3113 豊田工業大学渉外広報グループ TEL 052-809-1764

個人情報の取扱いについて…収集した個人情報は、受講・キャンセル受付、参加証の作成・発送、参加者リストの作成、講演会受付・今後の講演会開催のご案内のために利用します。なお、収集した個人情報は、参加証発送手続きのために委託業者にも提供致します。



南山大学



豊田工業大学